

森けんじ市議会レポート

きらら通信 vol.4

平成28年4月

平成二十八年度も、
どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成二十八年第一回定例議会が終了しました。この時期の議会は、「予算議会」などといわれ、28年度の予算案を調査、確認、そして議決する大切な議会となりました。森は自分の委員会はもとより全ての委員会、そして予算特別委員会の全てに出席・傍聴し、「市のお金がどんな事に使われているのか」確認できました。今後は使うべきお金、無駄なお金を精査し、合理的な使い方を求めて参ります。また、この春は、卒業式・入学式に出席させていただきます。ただき、ピカピカな大網の子供たちに元気をもらい、新たな気持ちで新年度を迎えることが出来ました。

今議会でも、左記テーマで一般質問を行いました。

- 子育て支援について
- 高齢者福祉(地域包括ケアシステム等)について
- 交通安全対策について
- 観光誘致について
- 大網小学校の増室について (詳細は裏面「参照下さい」)

この原稿を書いている中、熊本地震の報道が入りました。九州の皆さんの無事をお祈り申し上げます。私たちに何が出来るか考え、また大網白里に地震が来る事も想定し、備えをせねばと痛感しております。ちなみに市では今年度、海岸地区に、津波タワー及び築山(高さ10m程度の高台)を作る予定です。引き続き、皆様のお声を肝に銘じ、「住民のための政治」を目指して努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

生活のうえで困り事、問題点などございましたら、ぜひ教えてください、メールやファックスでご連絡いただけますと幸いです。

森 けんじ

☆「第2回市政報告会」を開催します。

日時:平成28年5月7日(土)、午前10:00～

場所:みどりが丘自治会館

※どなたでもご参加いただけます。

森けんじのプロフィール

- 昭和40年5月29日生まれ、50歳。妻、一男一女の4人家族。
- 東洋大学部法学部法律学科卒業。
- 民間企業に25年間勤務(近畿日本ツーリスト株式会社)、在職中より千葉YEG、PTA、自治会、震災復興ボランティア、きらら青空カフェ等の地域活動を展開。
- 平成27年11月の大網白里市議会一般選挙にて初当選。文教常任委員会/議会改革特別委員会所属。議会だより編集副委員長。
- 現在は、自治会市有地有効利用検討専門部会長、きらら青空カフェ実行委員長、ぐるっと大網30kmウォーク実行委員、県立千葉東高校PTA等にて活動中です。

森けんじとまちづくりを考える会(千葉県政治団体No.388070)

大網白里市みどりが丘3-11-2

電話とファックス:0475-51-1478

ホームページ : <http://www.morikenji.net/>
(「森けんじ」で検索ください)

所属委員会は、文教常任委員会。そして、議会だより編集副委員長、議会改革特別委員会委員となりました。

3月、平成28年第1回定例議会での一般質問の内容(要約)

1. 高齢者福祉について

問、「地域包括ケアシステム」の構築が始まりました。厚生労働省の指導によって、高齢になっても地域で医療、介護、予防、そして住まい、生活支援が包括的に確保される体制の構築が目的だと聞いています。北欧の高税率高福祉型、対するアメリカの自己責任型、その中庸である、イギリスやフランスに見られるボランティアを活用したお金をかけない福祉政策型。日本はこれを目指す事になるのでしょうか。ただそのためには、「有償ボランティア」の役割が増える事になります。現在のボランティアの応募状況、その年齢層はどうなっているのか。

答、9名の養成研修を修了しました。応募者の年齢は、50代1名、60代3名、70代5名です。

問、隣の千葉市では、昨年末から「在宅介護の訪問レッスン」を始めた。システム構築のため、ボランティアに対するフォローアップセミナー、講習などは。

答、現在は、介護用品購入費用の助成や、「認知症家族の集い」の実施等に当てています。仰るとおり、今後はボランティア育成に力を入れていきます。

問、システムは、ボランティアなしでは成り立ちません。ボランティアに対する強力なフォローアップ、そして確保のための強い広報を求めます。

2. 教育行政について(子育て支援)

問、この1月「子ども子育て会議」で、認可外保育所等に対する補助制度が新設されました。企業内保育所は、市の認可なしでも補助金が受けられるようになります。現在の市内における保育環境は「過酷」の一語です。認可外の保育所、そして待機児童について、市ではどの程度把握していますか。

答、市内の認可外施設は2箇所あり、50名の児童が通園しています。この春の待機児童は、入所保留中の児童は市内に70名、その内6名が現在認可外保育施設を利用することとしています。

問、親御さんが「やむを得ず」認可外保育所を選択して、事故が起きるとすれば本末転倒です。認可に関する具体的な基準を確認したいのですが。

答、国や県が決めた基準に則っています。市内の認可外施設ではここ数年、事故等は特に報告されていません。地域型保育では、国や県の基準に沿って市が認可を行います。保育士の配置には慎重な対応が必要と認識しています。

問、保育士の月給とは、昨年、厚生労働省の統計によると、一般企業に比べて約10万円も安いそうです。民間の保育士の給与財源は、公的な補助金と親が払う保育料。公道価格で決まっているので、事業者側が勝手に定められません。つまり補助金が保育料を上げないと保育士の給料は上がらないのです。給料が安いと、保育士の募集があっても有資格者が応募しないので、保育士が足りなくなっています。基本は国の政策なので難しい部分はありますが、未来の大網白里市を担う子供達のために、市独自の考えを生かした、具体的な動きを求めます。

答、民間の保育士の処遇改善について、2月補正予算で対応しましたが、適正な支給が行われるよう指導に努めて参ります。併せて保育士の処遇改善策をはじめ、国の保育負担基準の見直し等についても積極的に擁護して参ります。

3. 観光行政について

問、昨年の外国人観光客は、前年比47.1%増の1973万7400人。日本政府観光局(JNTO)統計史上、伸び率・数とも最高だそうです。私も昨年まで国土交通省のビジット・ジャパン事業に関わりましたが、外客誘致のためにはホームページの拡充は不可欠です。12月にリニューアルされましたが、活用状況はいかが。

答、市のHPは、昨年12月、外国語機能の向上をはかった。二ヶ月経過し、アクセス数は19万9,279件、外国からのアクセスは全体の約1.2%、国別としては、アメリカ、ロシア、中国の順に多い状況です。

4. 交通安全対策について

問、昨年、車道が5.5メートル未満の生活道路が密集する区域、ここを主にゾーン30、30キロメートル以下で抜け道を防ぐという形で自動車事故を防止するために区域を定めて動いているという形の話聞いております。当市でも昨年12月20日から富田地区が施行を開始されたと聞きますが、状況はいかが。

答、施行後まだ2ヶ月と間もないので、具体的な成果は東金警察署でも把握できないとの事。今後は成果を鑑み、情報を発信いたします。

※この他、観光誘致として「民泊」「オリンピック事前キャンプ招致」、市長事務方針から「子育て世帯の経済負担を軽減するための給付事業」「大網小学校校舎の増築」について質問しました。

☆子育て支援について

待機児童問題を指摘、お母さん方の保育状況の過酷さ、保育士の低賃金や保育所不足の現状を把握することから始め、今後の子育て支援についての提言をいたしました。

☆高齢者福祉について

2月から「地域包括ケアシステム」の構築が始まり、ボランティアの役割が大きくなりました。住民主体の自主活動として育てるべく、その立ち上げを確認、活動支援をいただきました。

☆大網小学校、増室へ

本年度新入生から4クラスになりました。現在校舎の設計は1学年2クラスです。増室を問いただし、平成28年度中に、道路際に1棟、5室の増築を確約いたしました。

☆交通安全対策について

市内富田地区で「ゾーン30」が始まりました。住宅地区の安全確保のため、区域内の通行車の速度を制限するものです。今後いかに市内に広めていくべきか、問いただきました。

※議案は、平成28年度大網白里市一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、介護保険特別会計予算、介護サービス事業特別会計予算、ガス事業特別会計予算、教育委員会教育長の任命につき同意を求めること、農業委員会委員の任命につき同意を求めること、平成27年度各補正予算、など、53の議案が話し合われ、可決されました。詳しくは「議会だより」をご覧ください。



3/20「あれから5年、私達は何を学んだか」イベントを開催(前列左端)



1月、長生村の津波避難施設を視察(大網白里市にも今年度造成予定)

※次回の大網白里市議会は…

平成28年第2回定例議会は、平成28年6月6日(月)～24日(金)まで開催予定です。ぜひ傍聴にお越しください。(一般質問は6/9(木)～13(月)を予定。詳しいスケジュールは、市議会ホームページ等でご確認ください)

平成28年4月(第4号)

発行／森けんじとまちづくりを考える会

299-3255 大網白里市みどり丘3-11-2

電話とファックス:0475-51-1478

<http://www.morikenji.net/> (メールもHPからどうぞ)